

2017.4.18

会員の皆様、こんにちは。

先週、フィギュアスケートの浅田真央選手が惜しまれながらも引退を表明しました。浅田選手と言えば、やはり'14年のソチ五輪での演技が印象的です。ショートプログラムでは、ジャンプで転倒するなど、本来の力が発揮できませんでした。しかし、翌日のフリーでは、完璧な演技で順位を大きく上げました。その技術力もさることながら、気持ちの切り替えが見事でした。浅田選手は、フィギュアスケートというスポーツを通して、技術力と同時に強靱なメンタルも培っていたのですね。

さて、今回識者から寄せられた記事は、『スポーツのポテンシャル』がテーマです。スポーツは、疾病予防、コミュニケーションツール、経済成長、地方創生など多様なポテンシャルを秘めています。ぜひご一読下さい。

石田まさひろ政策研究会

スポーツで社会と経済が活性化します！

■ スポーツの多様な価値と力

我が国は、これから2019年ラグビーW杯及び2020年東京オリパラ大会をはじめ大規模国際競技大会が相次いで開催される予定であり、スポーツの

力を発揮するには絶好の機会です。スポーツには多様な価値がありますが、この機会にスポーツの力を活用して、社会と経済をより活性化していくことが可能です。



■ スポーツを活用した「健康」, 「共生」社会の実現

スポーツは、年齢、性別、障害の有無等に関わらず誰でも参加でき、人々が分け隔てなく親しむことで、心のバリアフリーや共生社会が実現します。

また、スポーツの継続的な実施により、生活習慣病の予防・改善や介護予防となり、健康寿命を伸ばすことができます。そしてその結果、社会全体での医療費抑制につながります。こういったスポーツの力に注目し、最近では、スポーツの習慣づくりを通じて「健康経営」を推進する民間事業者も増えております。

■ スポーツによる経済成長

スポーツは、多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツであり、その特性に着目すれば成長産業にもなります。政府では、「スポーツ市場を拡大し、その

収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大に繋げる」という好循環を生み出すことで、現在約5.5兆円のスポーツ市場規模を2025年までに15兆円に拡大することを目指しています。

■ スポーツを通じた地方創生

たとえば観光資源・名所旧跡・有名な特産品が無くとも、スポーツの力をうまく活用し、スポーツのメッカとして地域を活性化させることができます。最近、スポーツに参加することを通じて、その地方に宿泊し、観光し、食や文化を楽しむという「スポーツ・ツーリズム」が注目を浴びています。

政府では、今後5年間に、現在約140万人のスポーツ・ツーリズムによる訪日外国人数を250万人に、また消費額を約2,200億円から3,800億円に拡大することを目指しています。



【事務所からのお知らせ】

■ 次回の石田まさひろ政策研究会メールマガジンは5月8日（火）にお届けします。

■ 5月16日（火）8時より、石田まさひろ政策研究会定例勉強会を開催致します。

会場等の詳細は、追ってご案内申し上げます。

Seki-shiN石心 石田まさひろ政策研究会メールマガジン **vol.007**

※本メールは、石田まさひろ政策研究会にご入会いただいた会員の皆様へ配信しております。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】 本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】 石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---